

**製品名: MLKL ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13958**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | ウサギポリクローナル抗体                                       |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC   |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | ポリクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。  |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300 |
| 分子量  | 55kDa                          |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | MLKL   |
| 別名           | MLKL; Mixed lineage kinase domain-like protein |
| 遺伝子 ID       | 197259.0                                       |
| SwissProt ID | Q8NB16   |
| 免疫原          | MLKL 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 40-120                  |

**背景**

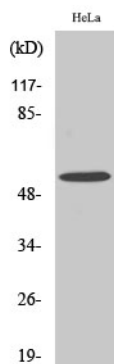
この遺伝子はタンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。コードされているタンパク質はタンパク質キナーゼ様ドメインを含むが、活性に必要ないくつかの残基を欠失しているため、不活性であると考えられている。このタンパク質は、ネクロプトーシス経

路の重要なシグナル伝達分子である受容体相互作用タンパク質3 (RIP3) との相互作用を介して、腫瘍壊死因子 (TNF) 誘導性ネクロプトーシス (プログラム細胞死プロセス) において重要な役割を果たす。阻害剤による研究およびこの遺伝子のノックダウンにより、TNF 誘導性ネクローシスが阻害された。このタンパク質および RIP3 の高レベルは、小児の炎症性腸疾患と関連している。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2015年9月],ドメイン: このタンパク質キナーゼドメインは、触媒的に不活性であると予測される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



1: 500 に希釈した MLKL ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析